金属材料の収集から製造・加工まで、一貫した技術を提供

株式会社MERF
中期経営計画2029

2026.11

MERF

東証スタンダード　証券コード　3168

© 2026 MERF Inc.

MERF

天然資源の少ない日本で
資源の有効利用を
透明性の高い所で行いたい

当社は創業来の揺るぎない企業理念のもと、事業展開を図ってまいりました。
今後も、リサイクル業界のトップランナーとして
企業理念の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

代表取締役社長　黒谷 暁



© 2026 MERF Inc.

CONTENTS

01. 2026年8月期決算概要

02. 中期経営計画2027の振り返り

03. 当社を取り巻く事業環境

04. 中期経営計画2029の基本方針

05. 重点戦略と主要施策

06. 重点経営数値目標

© 2026 MERF Inc.

01. 2026年8月期決算概要

© 2026 MERF Inc.

過去最高を更新

売上高

✓ **106,845百万円** （前期比 +24,382百万円）

銅価格の上昇やCMX Metalsの北米需要取り込みを追い風に過去最高を更新

売上総利益

✓ **7,398百万円** （前期比 +5,065百万円）

採算性を重視した取引の見直しや利鞘改善により収益性が向上　比率2.8%→6.9%へ

営業利益

✓ **4,440百万円** （前期比 +4,323百万円）

売上総利益の改善が販管費増加をカバーし、大幅増益

経常利益

✓ **4,342百万円** （前期比 +4,562百万円）

上記通り、銅価格の高騰・利鞘改善・CMX Metalsの業績寄与により黒字転換

営業CF

✓ **1,966百万円** （前期比 ▲356百万円）

営業活動による資金収支は前期比で減少したが、事業活動を通じた資金確保を継続

自己資本比率

✓ **37.2%** （前期比 +1.3ポイント）

利益の積み上げを受け、前期比より増加し財務基盤が改善

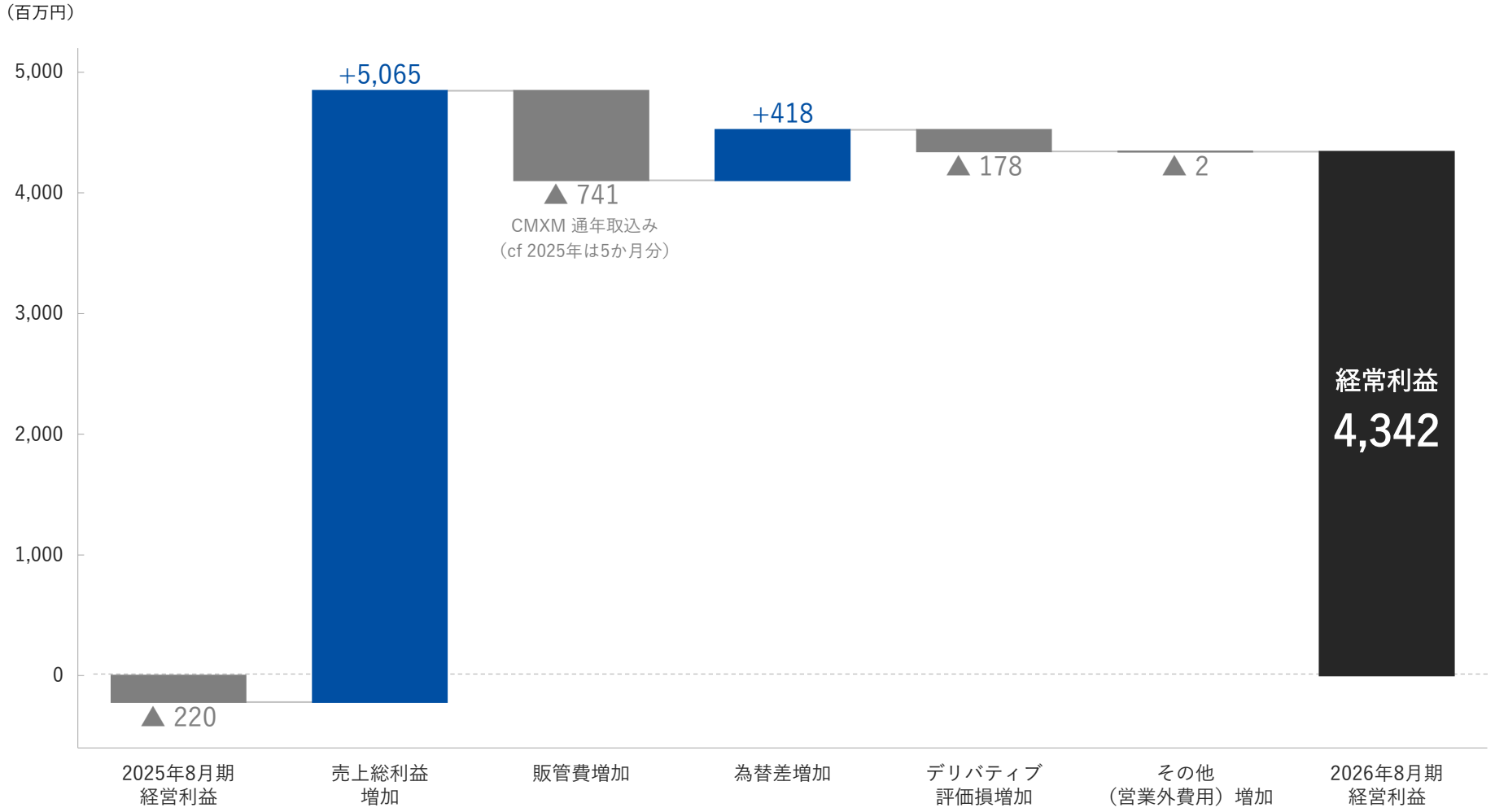
© 2026 MERF Inc.

売上要因	販売数量が減少するも、銅相場上昇、北米市場の需要の取り込みにより、売上高は前期比29.6%増加
利益要因	銅価格高騰、仕入先拡大、取引品目の見直しで利鞘改善、営業利益は大幅増加、経常利益は43億円計上

（百万円）		2025年8月期	2026年8月期	前期比増減
売上高		82,463	106,845	24,382
	売上原価	80,130	99,447	19,317
売上総利益		2,333	7,398	5,065
	販売費・一般管理費	2,215	2,957	742
営業利益		117	4,441	4,324
	営業外損益	▲ 337	▲ 98	239
経常利益		▲ 220	4,342	4,562
	特別損益	▲ 4	-	4
税引前当期純利益		▲ 216	4,342	4,558
	法人税等	13	1,550	1,537
親会社に帰属する当期純利益		▲ 203	2,791	2,994

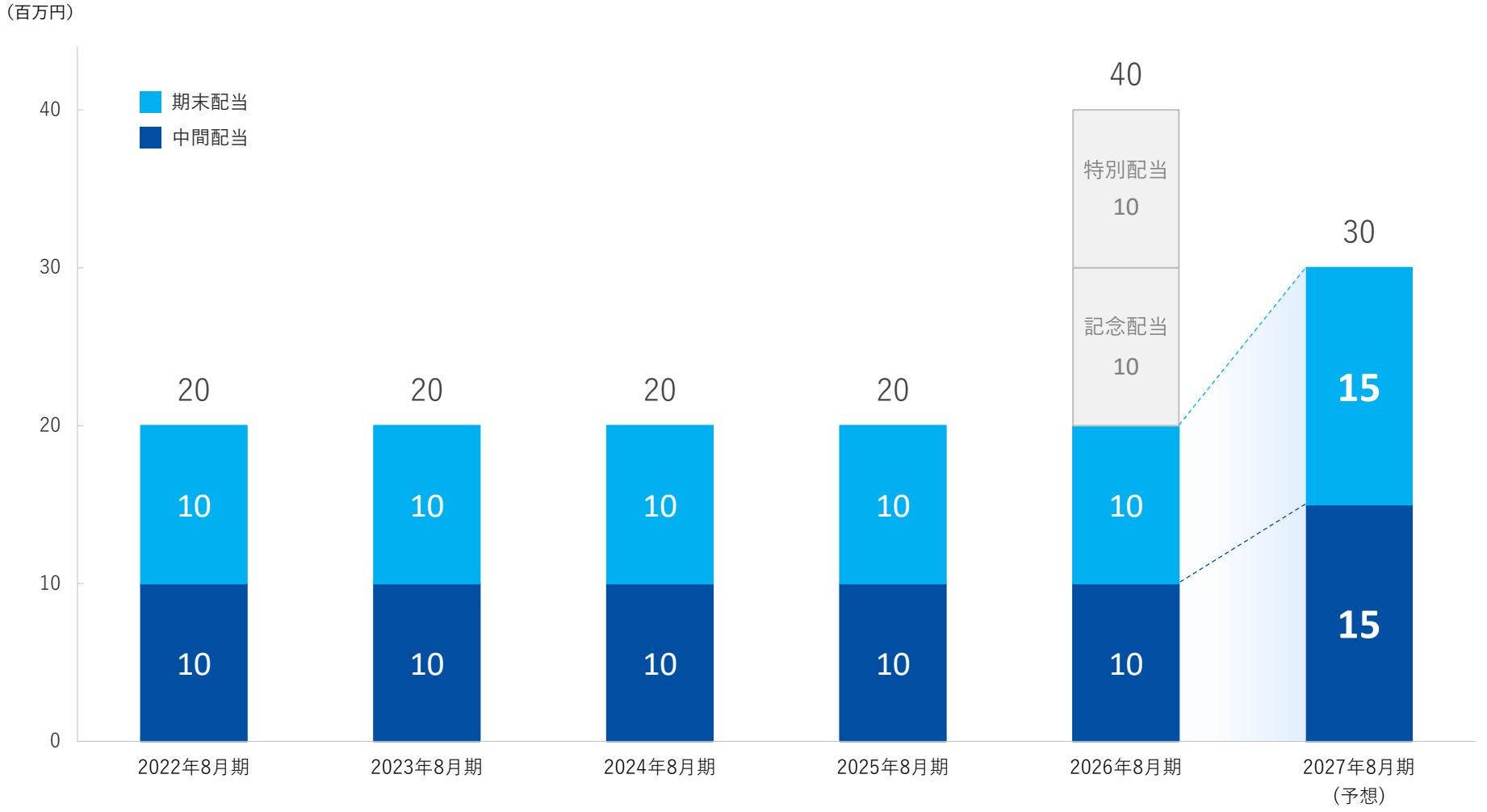
© 2026 MERF Inc.

売上総利益増加が利益を押し上げ、販管費やデリバティブ評価損の増加を吸収し、2026年8月期は大幅な黒字転換を実現。



© 2026 MERF Inc.

2026年8月期は設立40周年記念配当および特別配当を実施。
2027年8月期は普通配当を通期30円とし、従来比10円増配計画。

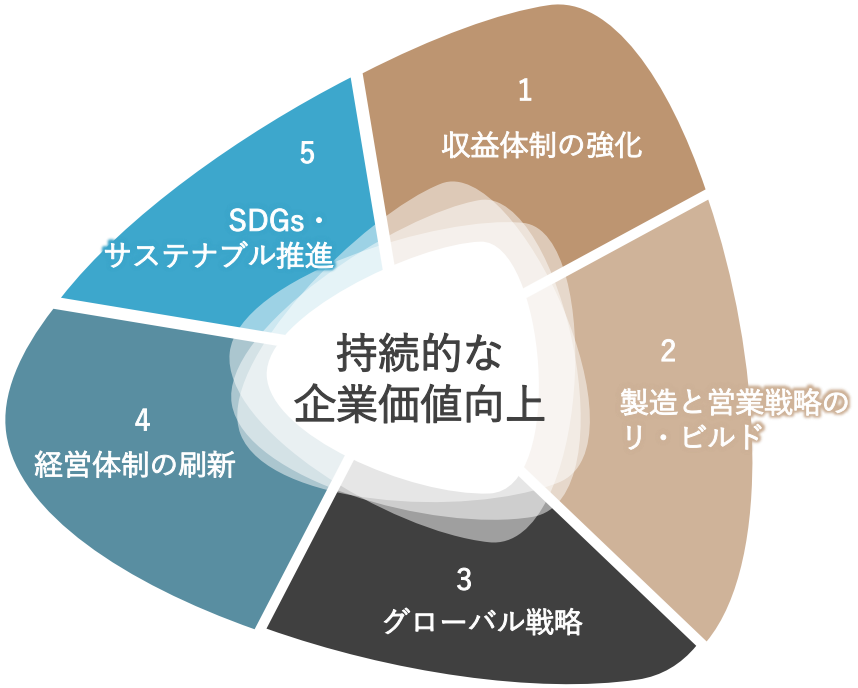


© 2026 MERF Inc.

02. 中期経営計画2027の振り返り

© 2026 MERF Inc.

中期経営計画2027における重点戦略は2年間で多方面に着実に進展。



1. 収益体制の強化
- M&Aに伴う収益力拡充、協業拡大
- 国内多国籍プレーヤーとの連携開始による仕入コスト低減
- 動脈産業および海外事業者との連携

2. 製造と営業戦略のリ・ビルド
- 溶解炉大型化による生産能力向上
- 適正在庫水準の遵守

3. グローバル戦略
- CMX Metalsとの協業
- グローバル人材の確保

4. 経営体制の刷新
- 新組織体制の定着
- 新人事制度、退職金制度導入
- 子会社内部統制制度の厳格化
- 管理業務のDX化、AI活用浸透

5. SDGs・サステナブル推進
- 太陽光発電、蓄電池の導入
- 工場全面LED化による使用電力削減
- サステナビリティ委員会の立ち上げ

© 2026 MERF Inc.

最終年度（2027年8月期）計画を1年前倒しで概ね達成、次期への基盤を構築。

	2024年8月期 実績	2025年8月期 実績	**2026年8月期 実績**	**前中計最終年度 2027年8月期計画※1**	評価
売上高	82,070 百万円	82,463 百万円	**106,845 百万円** ↗	90,000 百万円	○ 米国市場の需要取り込み 好況な銅相場
売上高 経常利益率	1.3 %	▲ 0.3 %	**4.1 %** ↗	2.4 %	○ 低採算取引、 取り扱い品目の見直し
当期 純利益	532 百万円	▲ 203 百万円	**2,791 百万円** ↗	1,500 百万円	○ 収益改善を背景に 大幅増加
自己資本 比率	35.6 %	35.9 %	**37.2 %** ↗	38.0 %	△ 計画未達も 自己資本積み上げ
ROE※2	5.7 %	-	**25.7 %**	8.0 %	○ 利益成長によりROE改善
配当性向※3	53.0 %	-	**20.3 %**	30.0 %	△ 記念配当・特別配当実施

※1 2025年11月20日に修正した最終年度計画を記載
※2 親会社株主に帰属する当期純利益を期首・期末平均自己資本で除して算出　※3 計画上の当期利益を前提とした中期経営計画上の目標値

© 2026 MERF Inc.

03. 当社を取り巻く事業環境

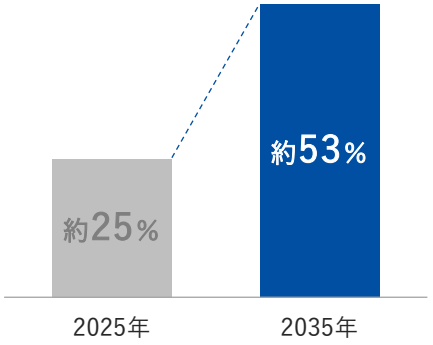
© 2026 MERF Inc.

「銅」の世界的な需要は構造的な成長により底堅く、今後も需要拡大見込み。

● 銅需要拡大要因・市場動向

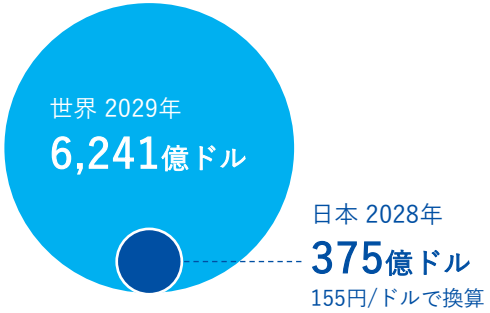
EV（電気自動車）の需要拡大

世界の乗用車全体に占める
EVの販売シェアは増加の見込み。



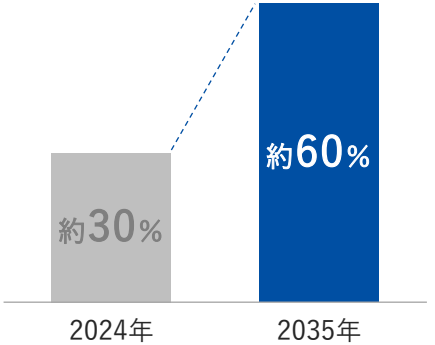
データセンター新設需要

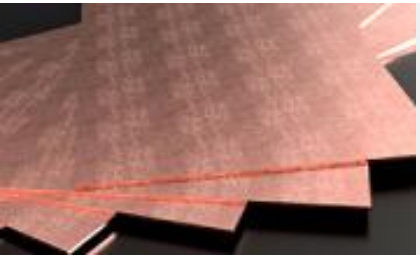
データセンター市場（売上高）は、
世界・日本ともに拡大する予想。

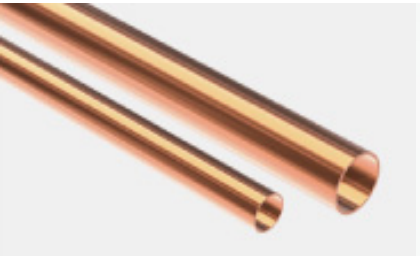


再生エネルギーの普及

世界の発電出力に占める
太陽光や風力発電のシェアは増加の見込み。





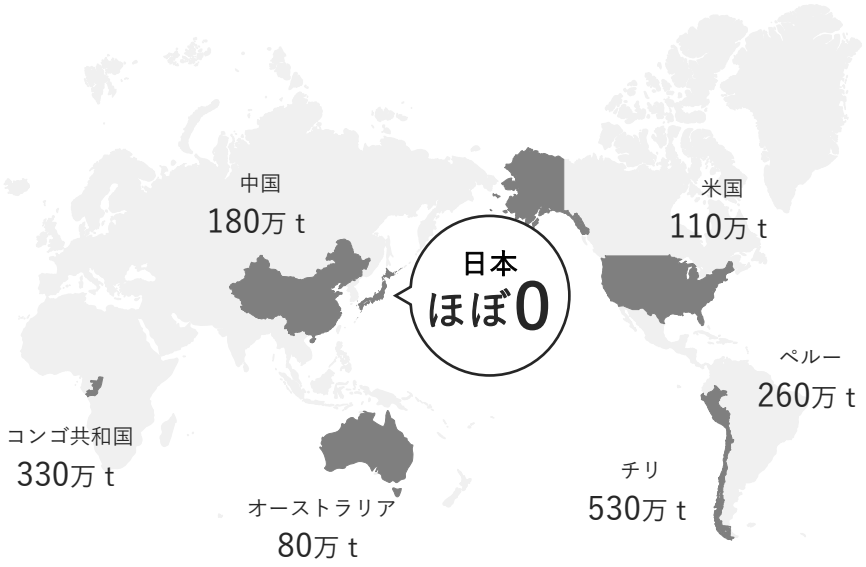




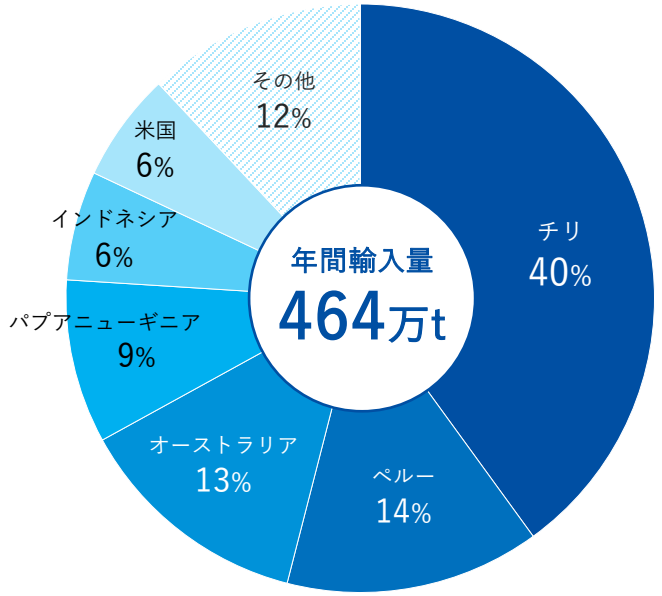
© 2026 MERF Inc.
出所：IEA「Global EV Data Explorer」の公表値（STEPSシナリオ）令和7年版情報通信白書／IEA『World Energy Outlook 2025』

銅鉱石の海外輸入依存に伴う地政学的リスクを踏まえ、国内での循環調達が求められている。

● 銅鉱石の生産量（2024年）



● 銅鉱石の輸入状況（2025年）



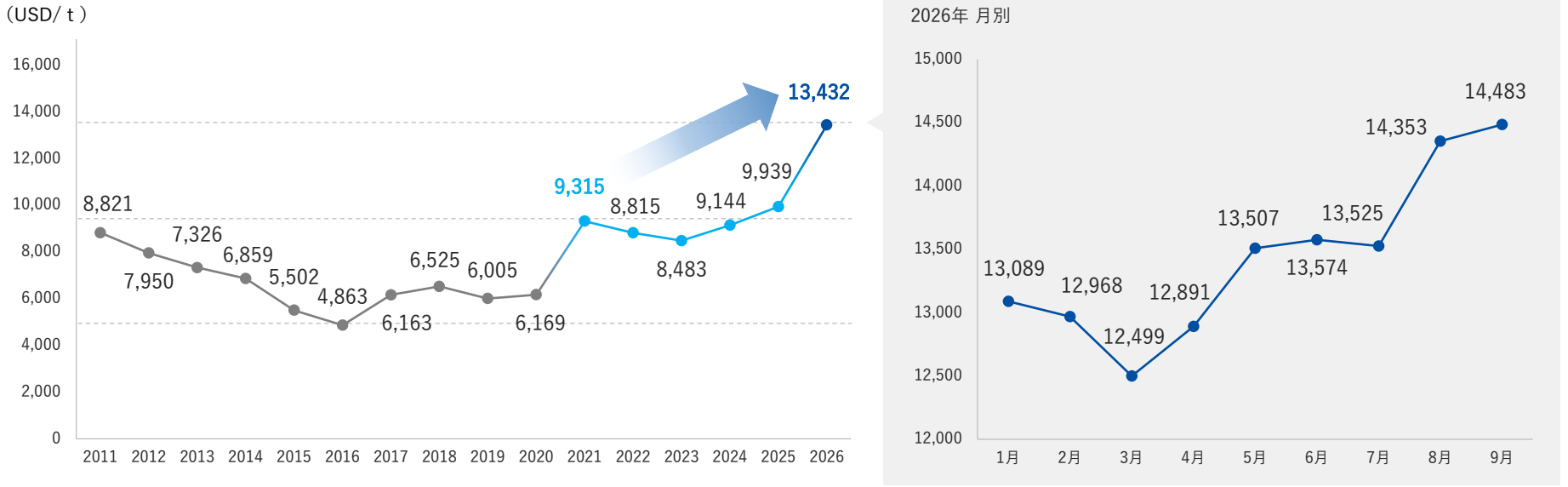
地政学的リスク	**資源ナショナリズム・社会的リスク**	チリでは採掘ロイヤルティに制度改正、ペルーでは社会的対立による生産停止が発生。政策変更や政情・社会情勢による銅鉱石の供給不安が懸念されている。
	銅鉱石品位低下	チリ等の主要産地で銅品位低下が進む中、資源量が豊富なアフリカは有望である一方、開発リスクも高い銅鉱石供給のみで銅需要を賄えるかが課題。

出所：財務省貿易統計／カナダ自然資源庁

© 2026 MERF Inc.

銅価格は変動を伴いつつも上昇トレンドを維持、直近は歴史的な高値圏で推移。

● LME銅価格の推移　※各期間平均値を記載



銅相場高騰の背景	✓ データセンター・電力網・EVによる需要拡大期待	✓ 米国の関税政策を意識した在庫積み増し
	✓ 主要鉱山からの供給不安	✓ 投資家からの需要増加

© 2026 MERF Inc.

循環型社会形成と環境負荷低減に向けた国の方針を踏まえリサイクル需要は拡大見込み。

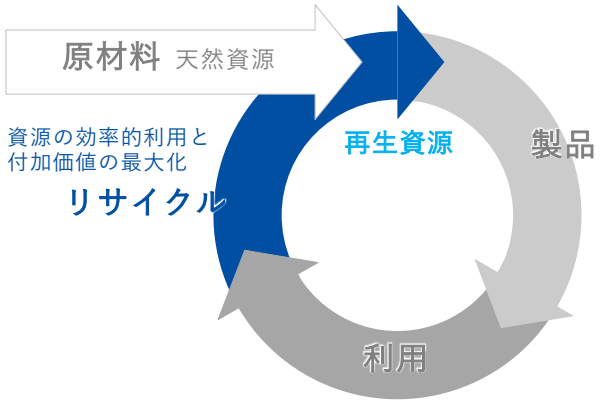
国の政策 ▶▶▶ 市場・需要への波及

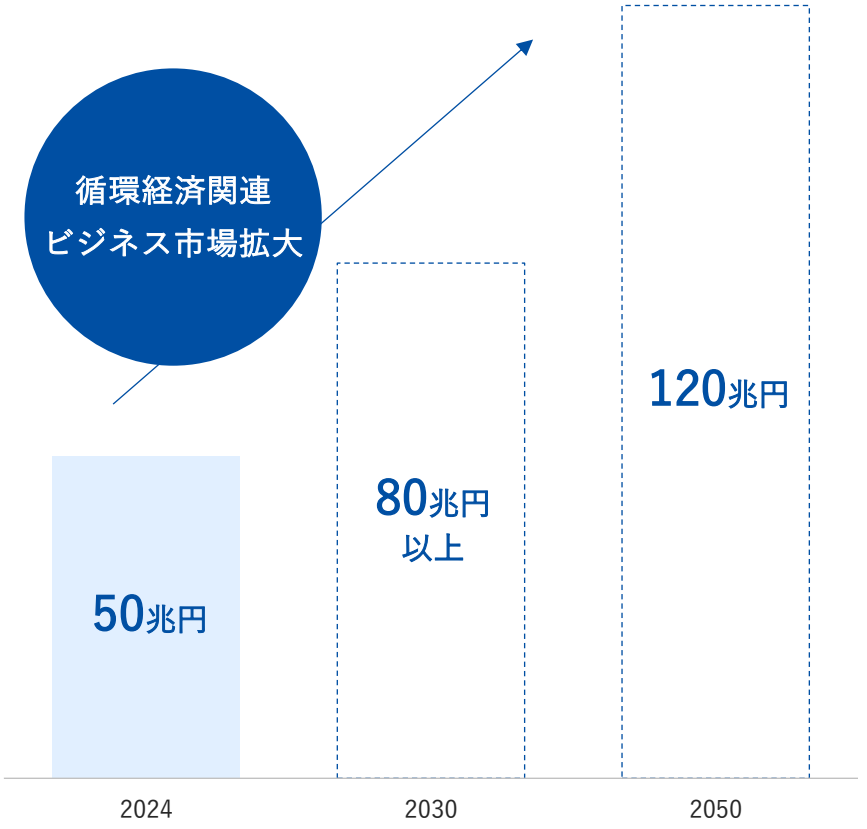
第六次環境基本計画

環境保全を基盤として持続可能な社会と
環境・経済・社会の統合的向上を目指す計画

第五次循環型社会形成推進基本計画

循環経済（サーキュラーエコノミー）を国家戦略に掲げ、
環境保護と経済成長を同時に目指す計画





© 2026 MERF Inc.

出所：環境省 「第五次循環型社会形成推進基本計画」(2024.8) 「第六次環境基本計画」(2024.5) 「令和3年版 環境白書」(2021.06)より抜粋

04. 中期経営計画2029の基本方針

© 2026 MERF Inc.

前中期経営計画を1年前倒しで概ね達成。
外部環境の変化を踏まえ、新しい中期経営計画を策定。



「中期経営計画2027」を前倒しで達成

重点戦略の進捗

前中計で掲げた重点施策が着実に進展

財務目標水準を十分に確保

重要指標において一定の成果を達成

外部環境の変化

市場・競争・環境の変化が加速

「新中期経営計画」策定

© 2026 MERF Inc.

中期経営計画 2029

2027年8月期～2029年8月期の3年間（当社第42期～第44期決算）

国内外のサーキュラーエコノミーの推進を成長の両輪とし、
脱炭素・サステナビリティと人的資本の強化を通じて
持続的な企業価値向上を目指す。



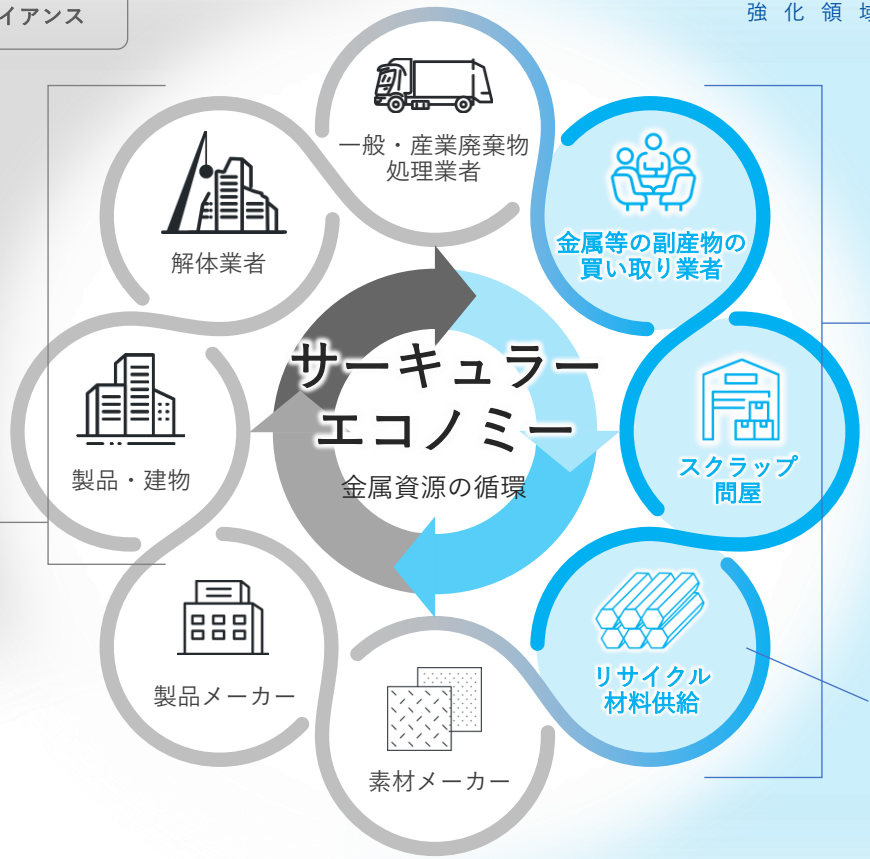
© 2026 MERF Inc.

国内外のサーキュラーエコノミーの推進を成長の両輪とし、
脱炭素・サステナビリティと人的資本の強化を通じて持続的な企業価値向上を目指す。

強化領域 M&A アライアンス

国内外の上流工程・発生工程からの調達強化

2026/10グループイン
イワセ重機産業
重機販売・リース業
富山県富山市



強化領域 設備投資 サステナビリティ脱炭素・人的資本

技術・製造能力向上による競争力確保

MERF

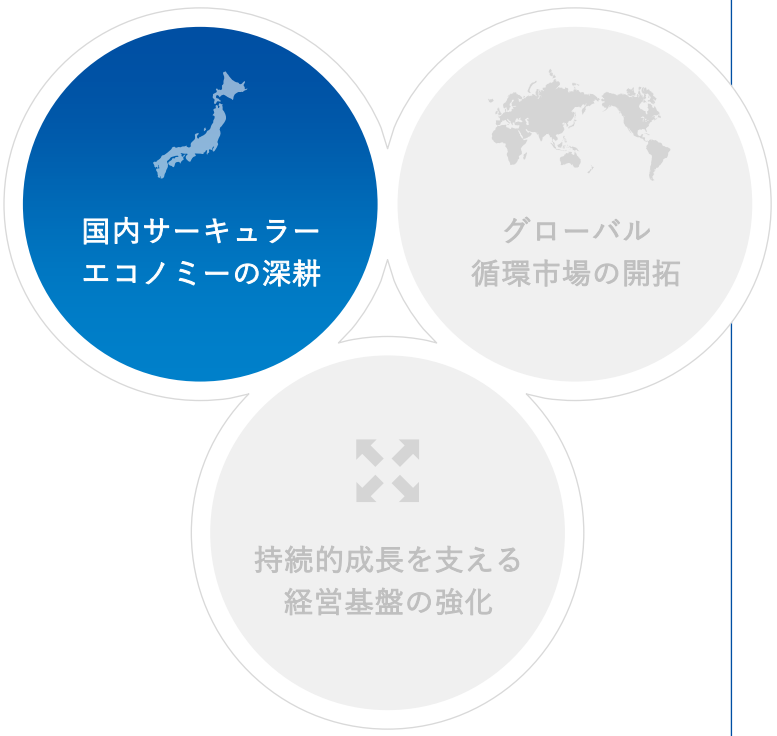
2025/01グループイン
CMX Metals
銅合金製造販売
米国カリフォルニア州

© 2026 MERF Inc.

05. 重点戦略と主要施策

© 2026 MERF Inc.

サーキュラーエコノミーの上流工程へのアプローチによる仕入や
ビジネスチャンスの拡大と、自社の技術加工力を高め、強固な収益基盤を確立をする。



仕入力の強化

- 発生元直結の原料確保
- M&Aによる上流領域の取り込み

循環型社会の実現

- 提携（アライアンス）の拡大
- 高付加価値加工ビジネスの展開

コスト競争力の向上

- 選別・加工プロセスの自動化・省力化
- 予防保全・メンテナンスの徹底

© 2026 MERF Inc.

調達開拓・海外製品の販売拡大・成長投資を一体的に推進、
調達から販売までがグローバルに循環する事業基盤を構築する。



調達基盤の強化

- 新規エリアからの仕入れ開拓
- 代替・新規リサイクル原料の確保

販売機会の拡大

- 海外子会社を活用した販売拡大
- ニーズ適合製品の開発・販売

積極的な成長投資

- 海外子会社の設備増強
- クロスボーダーM&A推進

© 2026 MERF Inc.

環境・社会・ガバナンスの各領域で経営基盤を強化、
ステークホルダーからの信頼を高めながら持続的な企業価値向上を実現する。



脱炭素・サステナビリティ

- サプライチェーン排出量の可視化・削減・開示
- 気候変動に伴うリスク・機会の事業影響の評価と対応

人的資本経営

- 人財育成と多様性の推進
- 労働安全衛生の徹底
- 健康経営の推進

コーポレートガバナンス資本市場対応

- 取締役会の実効性評価
- 資本コストや株価を意識した経営と開示推進
- ステークホルダーとの建設的な対話

© 2026 MERF Inc.

05. 重点経営数値目標

© 2026 MERF Inc.

3年間さらなる成長を見せ、スケール拡大と、高収益両立へチャレンジ。

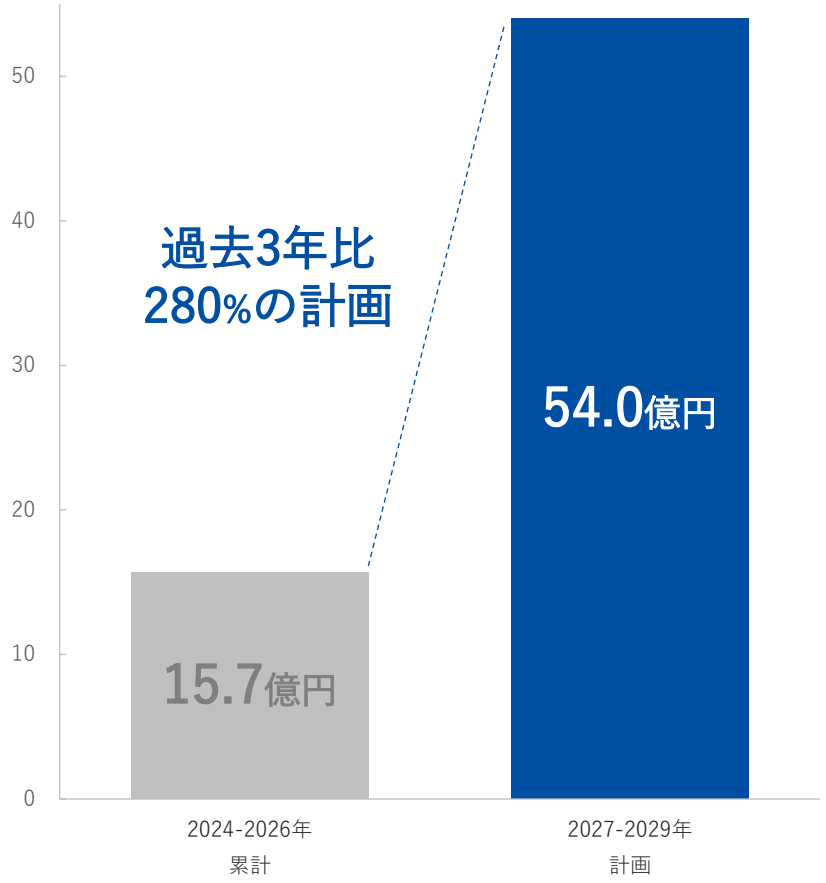
	2024年8月期 実績	2025年8月期 実績	2026年8月期 実績	2027年8月期 予想※1	2029年8月期 計画※1
売上高	82,070 百万円	82,463 百万円	106,845 百万円	136,538 百万円	160,000 百万円
売上高経常利益率	1.3 %	▲ 0.3 %	4.1 %	2.0 %	3.5 %
当期純利益	532 百万円	▲ 203 百万円	2,791 百万円	1,833 百万円	4,000 百万円
自己資本比率	35.6 %	35.9 %	37.2 %	-	40.0 %
ROE※2	5.7 %	-	25.7 %	-	15.0 %以上

※1 前提　LME銅価格 13,000ドル/MT、為替160円/USD
※2 親会社株主に帰属する当期純利益を期首・期末平均自己資本で除して算出

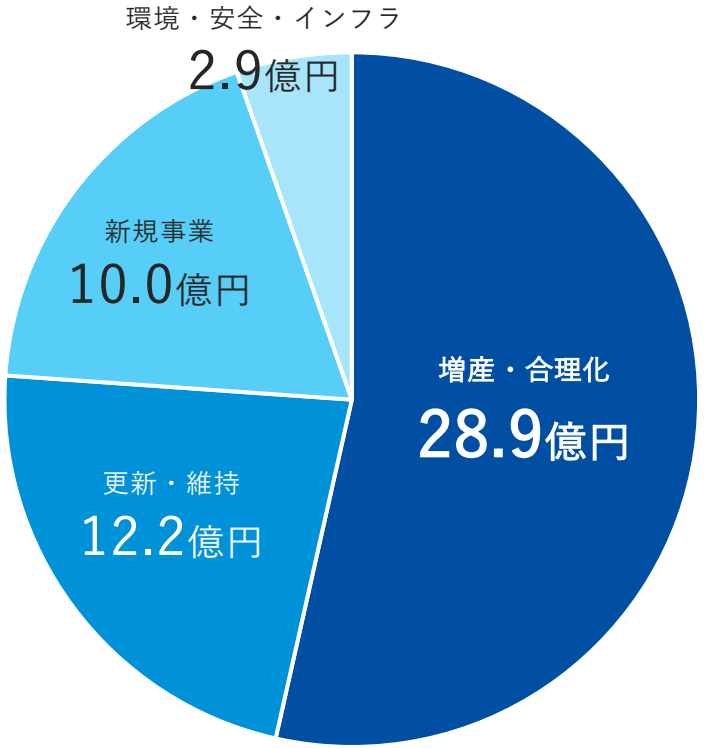
© 2026 MERF Inc.

増産・合理化投資と国内外の事業基盤強化を進め、安定操業確保と将来の成長力・収益力向上を目指す。

● 設備投資額の推移・計画



● 中期経営計画における設備投資内訳



※ 設備投資額は当社および連結子会社を含むグループ全体の合計額
※ 設備投資計画は策定時点の計画であり、今後の事業環境や投資案件の進捗により変更の可能性あり

© 2026 MERF Inc.

本資料は株式会社MERFの現状と今後の計画を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている
経済・社会等情勢及び当社が合理的と判断した前提に基づいて作成しております。

経済環境の変化等により、予告なしに変更する可能性がありますので、ご了承ください。

© 2026 MERF Inc.



MERF

© 2026 MERF Inc.